

極秘

部内第 號

國內防衛方策要綱

一 方針

國內防衛態勢ノ確立ニ付テハ現下ノ情勢ニ鑑ミ差シ當リ特ニ肝要ナル
防衛對策ノ本年內急速遂行ヲ目途トシ之ニ對スル緊急措置ヲ講ス

二 要領

一 生産機關及供給施設ノ防衛

(一) 重要生産機關及供給施設要部ノ耐彈其ノ他ノ防護施設等此ノ際

特ニ防衛對策ヲ實施スヘキ對象ヲ其ノ緩急度ニ從ヒ釐定ス

決定

昭和一九〇一六
最高戰爭指導會議報告
閣議決定

102

0833

(二) (一)ニ要スル資材ハ現有及轉用資材竝ニ代用資材ヲ極力活用スル

モ必要最少限度ノ資材ハ此ノ際緊急措置トシテ特別ノ配當ヲ受ク
ルモノトス(五参照)

(三) 右防禦對策ノ實施ハ現有及轉用資材ヲ基礎トシ直ニ着手スルモ
ノトシ、其ノ完成期限ハ本年十二月末日ヲ目標トシ各施設ニ付之
ヲ定ムルモノトス

二 運輸通信機關ノ防衛

(一) 重要運輸通信機關要部ノ耐彈、分散疎開其ノ他防護施設、國土
防衛通信施設ノ強化等此ノ際特ニ防衛對策ヲ實施スヘキ對象ヲ其

ノ緩急度ニ從ヒ釐定ス

(二) 右防空對策ノ實施計畫、所製資材及完成期限ニ付テハ生産機關

ノ防衛ノ場合ニ準スルモノトス

三 重要都市ノ防衛

(一) 重要都市ニ於テハ特ニ消防防火ヲ重視スルト共ニ消防、防火、

水利、防彈及待避等ノ諸施設ヲ急速ニ整備充實ス

(二) 特ニ重要ナル施設及工場ノ周邊ノ建物及間引ノ疎開ハ努メテ之

カ實施ヲ圖ルモノトス

四 其ノ他

(一) 空襲其ノ他敵襲時ニ於ケル勤勞者ノ確保ヲ圖ル爲從業強制、派
遣及配置轉換等ニ關スル勤勞施策ヲ強化ス

(二) 空襲其ノ他敵襲時應急輸送ノ確保ニ資スル爲自動車修理用部品
及非常用荷車ヲ確保ス

(三) 防空救護機關ニ付公的性格ヲ更ニ明確ナラシムルト共ニ要員、
設備及資材(醫藥品ヲ含ム)ノ整備ヲ強化ス

五 所要資材

本件實施ノ爲ニ要スル資材ハ第三、四半期ニ於テ受クヘキ一般配當
ノ外緊急措置トシテ特別配當スルモノトシ普通鋼々材ハ査察ニ依リ

0836

取得セラルヘキ未稼働物資ノ中ヨリ配當シ其ノ他ノ資材ニ關シテハ
Cヨリ捻出スルモノノ外主トシテA B B_x Dヨリ支援スルモノトス
特別配當資材ノ數量、用途區分概ネ別表ノ如シ

104

0837

極秘

別表

所要資料表

項目	説明	数量	種類	電氣類	木材	その他
一、電氣事業	(一) 支電所分散 上津段(北九州地区)・古川橋・八尾 及小曾根(及神地区)・大塚(横 須賀地区)・青島(及宮原(其富地 区))・各支電所防護ノ為分散疎用 ス	四七九〇	鉄	二一六	五六、二五〇	二、三五〇
(二) 送電送路系	〇、〇、四離支電所(北九州地区)ニ因波 敷支電所設置ノ上ト共ニ木更津 及西島(大坂地区)両支電所連 絡線ヲ新設ス	一五〇	鉄	八〇	一七五〇	三五〇
(三) 生産施設関係 ① 炭坑 ② 力確保事業 施設	輕全層管及炭坑供給電力發電所等 ノ防護施設(金清水・新居浜・丹波・九州 火力港・武雄)及相ノ浦各發電所ノ 防護施設(水ノ目)ニ因管間送電 連絡施設ノ強化)	二六一〇	鉄	六六	三〇、〇〇〇	六、一〇〇
二、炭坑事業	炭坑防護施設 重岡・炭坑・發・變電所・空氣圧機 機・排氣・坑口等ノ防護施設	一五〇〇	鉄	五〇	二、五〇〇	一、三三〇
三、瓦斯事業	(一) 瓦斯製造防護 東京・横浜・大坂・神戸・熱田・廣 島・瓦斯會社ノ瓦斯發生機ノ火 焰防火排送機ニ圧送機及變電所 ノ防護施設	一五〇〇	鉄	六	一、二〇〇〇	四、八〇〇
(二) 重要都市瓦 新管運送工 事	東京・立川間・大坂・京都間運送路 工事	三〇〇	鉄	一	四、五〇〇	二、四〇〇
四、鉄鋼事業	日鉄釜石及廣畑ノ火燭防火施設 川崎重工業及住友金屬工業等ノ 防護施設	一七五〇	鉄	二	八、〇〇〇	四、〇〇〇
五、輕全層管事業	日輕浦東工場直流發電所耐摩 擦	四五〇	鉄	五	二、五〇〇	二、〇〇〇
六、水道事業	(一) 防護施設 東京・川崎・横浜・名古屋・大坂及 八幡水道・ボニア室等ノ防護施設	一三四三	鉄	一	二、三九一	二、三二〇
(二) 送配水幹線 相互連絡施 設	東京・川崎・横浜・名古屋・大坂・尼 崎・神戸・八幡各都市ノ水道ノ相 互連絡ヲ為ス	五四	鉄	一	一、五九一	一、八七一

計	(四) 國際無線送 信所及統制 中継所耐 彈施設	(三) 國土防衛通 信施設	(二) 架空ケーブ ル地下埋設 九州五ノ料分	(一) 洞道耐彈施 設 大阪中央電信電話局	二通 信	(二) 船舶給水用 豫備貯水槽 重要指定港湾	(一) 救難施設 函館、京浜、関門、神戸、新 潟各港ニ救難船十二隻ヲ配備 スルニ必要ナル資材ノ整備	○海 運	(一) 代燃装置修 理用部品	九陸上小運送	(一) 支電所防護 東京、名古屋、京阪神地區地 方鉄道軌道支電所防護	八地方鐵道軌道	(四) 橋梁防護 利根、荒、隅田、六郷、多摩 上流、下流各河川ノ橋梁防護	(三) 分散疎開 新鶴見機關區ノ機關車ノ分散 待避施設	(二) 防護施設 主要驛豫備給水施設、機關車 車輛修理工場重要機器防護	(一) 耐彈施設 東京中央電力司令室、武藏野 及下関支電區配電盤室並ニ千 手(信濃川) 弁電區配電盤室 等ノ耐彈施設	七國有鐵道
二六四五八	三〇〇	一、〇〇〇	一六五	三〇〇	一七六五	四〇	二五〇	二九〇	三〇〇	三〇〇	三四〇	三七〇	六八〇	五〇〇	七〇〇	二二五〇	
八七〇八																	
四〇四五五三四一	七〇〇	一一〇	三〇	五〇〇	一五〇	五〇〇	一〇	五〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	九〇〇	一〇、〇〇〇	一八〇〇〇	五、〇〇〇	五三、〇〇〇	
四三六九〇	五〇〇	五〇〇	二五〇	四五〇	一〇〇〇						六七〇	九〇〇		二二〇〇	一〇、〇〇〇	二一、〇〇〇	